

グリーン四国

No.1165
2017年
4月号

平成29年新規採用者入庁式



目次

- ・野津山局長就任挨拶..... 2
- ・すばらしい四国の森林を次代に伝えるために..... 3
- ・平成28年度治山・林道工事 コンクール受賞者表彰式..... 4
- ・「中岡慎太郎生家」でひな人形の展示..... 5
- ・各地のたより..... 6



四国山の日

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30
TEL 088-821-2052
FAX 088-821-4834
H P <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>
E-mail shikoku_soumu@maff.go.jp

野津山局長就任挨拶

新四国森林管理局長

野津山 喜晴



4月3日（月）、野津山局長就任挨拶が行われました。

野津山局長より、『四国は森林率が高く、特に高知県は84%と日本で、四国の面積の約1割を国有林が占めています。』

こうした中、国有林をしっかりと整備・管理して、水源涵養、山地災害の防止などの公益的機能をより高度

に発揮させることはもとより、特に現下の重要課題である林業の成長産業化、これを通じての地方創生、山村振興に向けて、力を注いでいきたいと考えています。

川下では、C・L・Tを使用した建築、木質バイオマス発電、大型製材工場の稼働などダイナミックな動きをしていると感じています。

このような川下に、どのように安定的に国有林材を供給していくかが非常に重要な課題であり、大山林所有者である国有林は、その調整役としての機能発揮が求められており、地域の林業・木材産業界関係者との連携を密にしながら、的確に対応していく必要があります。

市町村の森林・林業行政においては、森林総合監理士の育成や市町村への技術支援を推進して、これまで以上に地域に貢献していきたいと考えています。

四国局では、特にシカ食害対策が喫緊の課題であると聞いています。民有林関係者と連携し、より効果的な対策を進め、シカ食害の軽減に努めていきたいと考えています。

このように、四国局が抱える課題等は多岐に渡っており、できる限り現地に向き、現場の声を聞きながら、皆さんと一緒に仕事を進めていきますよう。

一方、私たち公務員が常に考えておくべきことは、公務員としての自

覚を持ち、国民から見られているとの認識に立ち、皆さんが自分の仕事に対し、どうすればもっとよくなるのかなど、自覚を持って仕事に取り組んで頂きたい。

最後に、四国森林管理局が益々発展するように、皆さんと一緒に力を尽くしたいと思います。』と挨拶がありました。

すばらしい四国の森林を次代に伝えるために

前四国森林管理局長

大山 誠一郎



平成27年の7月末から29年3月末まで1年8ヶ月という短い期間でしたが、四国森林管理局長を務めました。この間の関係の皆様方のご指導、ご鞭撻に心から感謝申し上げます。
在任中、天気のよい休日には、おにぎりなどをもって山に登るのが何よりの楽しみでした。四国の山は、いずれもそれぞれに趣きがあり、山

頂から眼下に広がる緑の森は、水を、多くの生物を、また、太古から様々な伝説を育んで、とても豊かで美しい。この美しい森を守り、育てる仕事の一端に携わることができたことを大変ありがたく思っています。

四国森林管理局の使命は、四国の国有林をきちんと整備して、その多面的機能を高度に発揮させることがまず第一ですが、究極的には、民有林も含めて四国全体の森林をより良いものにして次の世代に引き継いでいくことにあります。このことは、林業の活性化、成長産業化なくして達成できないことであり、このため、林業の成長産業化に貢献することが四国森林管理局のもう一つの使

命になっています。いま、山村、中山間地域では、人口の減少が進み、大変厳しい状況にあることも事実ですが、一方、若者の農山村への回帰の動きも明らかに見られるところで、雇用の少ない山村への若者たちの定住をより大きな流れとするためにも、山村に豊富に賦存する森林資源を活用して雇用を生み出していくことは大変重要です。

私自身がこのような四国森林管理局の使命の達成のためにどれだけ貢献できたかは、甚だ心許ないところですが、四国局には、長年にわたって培ってきた森林・林業に関する幅広い知見と優れた技術力があります。これからも四国局の職員一

堂が一層研鑽を積んで、関係機関との密接な連携の下に持てる力を存分に発揮して、すばらしい四国の森林を次代に引き継いでいって欲しいと思います。

久しぶりの東京の通勤ラッシュは、結構こたえます。「まだ東京で消耗してるの？」というタイトルの高知に移住したブロガーの本がありますが、「まだ」ではなく「また」東京で消耗するというのは大層愚かなことです。愚かではありますが、やむを得ません。消耗しきらないうちに四国に遊びに行くつもりです。

平成28年度 治山・林道工事 コンクール受賞者表彰式

治山・林道工事コンクール受賞者の表彰式が3月8日、四国森林管理局大会議室で行われ、次の方々が受賞されました。

(敬称略)

○四国森林管理局局長表彰

【治山工事部門】

◆(有) 金本組

代表取締役 金本 花子

◆湯浅建設(株)

代表取締役 湯浅 雅文

◆高陽開発(有)

代表取締役 玉木 大祐

【現場代理人・主任(監理) 技術者】

◆(株) 山全

現場代理人 阿佐 公嗣

主任(監理) 技術者

阿佐 公嗣

◆監督職員

徳島森林管理署

治山技術官 敷地 友和

◆(株) 大字建設

現場代理人 岡部 明博

主任(監理) 技術者

工藤 佳大

◆監督職員(当時)

香川森林管理事務所

治山技術官 加用 貴章

【林道工事部門】

◆(有) 上西組

代表取締役 上西 虎夫

◆(株) 不二土木

代表取締役 尾崎 二憲

◆(株) 山全

代表取締役 牛尾 正治

また、次の方々(2月21日に、林野庁において、表彰を受けています)。

●林野庁長官表彰

【治山工事部門】

◆(株) 山全

代表取締役 牛尾 正治

◆大字建設(株)

代表取締役 大字 徹



「中岡慎太郎生家」で ひな人形の展示

毎年2月から3月にかけて「高知東海岸土佐町家ひなまつり」が、安芸市・安田町・田野町・北川村・奈半利町・室戸市（吉良川町）に於いて、長年大切に受け継がれてきたひな人形の展示が行われています。

一昨年、「中岡慎太郎先生顕彰会」から、「北川村で、林業・林産業のPRを行うにあたり貴局で準備出来る木工品等を多数展示頂けないか」との要請を受け、展示を行っていません。今年も同顕彰会からの要請を受け、2月25日から3月12日まで北川村「中岡慎太郎生家」において、四国森林管理局森林ボランティアとして活動されている正岡美恵さんの作品を展示しました。

正岡作品は、今年作製したひな人形13体を含む100体と山崎作品15体を展示しました。

期間中慎太郎生家には460名の来客があり、県内観光客は勿論、遠

くは宮城県をはじめ東京・千葉・大分など遠くの都県から訪れた観光客もいました。中には「昨年も来て、今年もまた見たくて来ました。」「木で作ったひな人形を初めて見て、感激しました。」「上品で細かく出来ていて大変素晴らしい」といった感想や「このおひな様が欲しい。おいくらですか?」という質問がありました。

また、会場に準備していた、森林管理局作製の「ひな人形カレンダー」、「ひな人形カード」も殆ど無くなり四国森林管理局のPRに繋がりました。

今回のイベントでは、北川村の村民は勿論のこと、県内外から多くの観光客が訪れ「木で作製したひな人形」を鑑賞することにより木の良さを一層PRすることが出来たと考えています。

〈技術普及課〉



鑑賞する観光客



展示したひな人形



各地のたより



地元の里山で

広葉樹を植樹

3月7日、当署管内大谷山国有林の更新箇所において、小学生と地域住民による植樹行事が行われました。

今回の植樹は、立木販売（分収育林）の搬出作業当初から、地元金上野地区長をはじめ地域の方々より「地域の水源地でもあるので、植付する際には広葉樹も植えてもらいたい。」と、かねてからの要望があり、同時に、四万十町より小学生による林業体験事業（植樹）の申請があり実現したものです。

当日は、四万十町立窪川小学校6年生44名、地域住民6名の参加があり、開会式では署長から「紅葉する

木や花の咲く木、実のなる木などそれぞれ特色のある苗木を皆さんに植えてもらいます、ぜひ、大人になった時に立派に成長した姿を見にきてください。」と挨拶があり、2人1組で早速植樹作業に向かいました。

植樹した樹種は、「イロハモミジ、ヤマザクラ、サワグルミ」などで、児童達は重たい鍬を持ち、時折吹く強風と急斜面での慣れない作業に苦労している様子でしたが、植えられた苗木には「1000年生きる！」など、それぞれの気持ちがかもった木製プレートが付けられました。

当地は国道の近くで高知市内からのアクセスに優れており、低密度植栽技術の導入、ヒノキエリートツリー、早生樹として期待されるセシランの植栽といった技術開発事業

各地のたより 目次

地元の里山で広葉樹を植樹

小学校の卒業記念の木工教室で
プランターの木枠を製作

新任紹介



も多数実施されています。当署としても今回植えられた苗木が大地に根を張り、地域の水源や景観に寄与する立派な木となるよう育てていきます。

〈四万十森林管理署〉



小学校の卒業記念の 木工教室でプランターの 木枠を製作

四万十市立西土佐小学校より、「6年生が卒業記念として卒業式でお披露目するプランターの木枠を製作したので児童に指導してもらいたい。」との要請を受け、3月7日に6年生20名を対象にした木工教室を開催しました。

事前に、小学校が所有するスギ板を当所でお預かりして、プランターの木枠製作用の各パーツに加工しました。

木工教室では最初に、プランターの木枠製作の材料であるスギヤヒノキについて説明しました。

次に、金槌で釘の打ち方や木枠の組み立て方法、作業をする際の注意点について、実演を交えながら説明をしました。

その後、児童は2人1組になり協力しあって、金槌で釘を打ち、プランターの木枠をうまく完成させることができました。

最後に、児童の代表より、「良い

卒業記念の木工作品が出来ました。」とお礼の挨拶がありました。

今回のプランターの木枠製作を通して、木の持つ温もりや素材としての木材の良さを身近に感じてもらえたと思います。

当所としても、地元小学校の要請に応えることができた良い1日となりました。

〈四万十ふれあい推進センター〉



プランターの木枠ができたよ



組み立て、相談中



プランターの木枠作りを指導

新任者 略歴紹介

四国森林管理局長

野津山 喜晴

○昭和62年4月

水産庁漁政部採用

○平成27年9月

農林水産省

大臣官房報道官

○平成29年4月 現職

森林整備部長

森谷 克彦

○昭和63年4月

林野庁管理部採用

○平成27年4月

四国森林管理局

計画保全部長

○平成29年4月 現職

計画保全部長

岡村 和哉

○昭和63年4月

林野庁業務部採用

○平成27年4月

林野庁

森林整備部治山課

水源地治山対策室長

○平成29年4月 現職

愛媛森林管理署長

間島 重道

○平成5年4月

林野庁採用

○平成27年4月

林野庁

林政部林政課広報官

○平成29年4月 現職

高知中部森林管理署長

森野 清繁

○昭和53年4月

高知営林局採用

○平成24年1月

四国森林管理局

森林整備部企画官

(木材需給対策担当)

○平成29年4月 現職

平成29年度新規採用者

表紙写真、前列右側から

渡邊 恭平

(安芸署)

荒牧 直輝

(愛媛書)

西森 千紗

(安芸署)

野津山喜晴局長

石田 薫

(四万十署)

山口 健太郎

(森林整備課)

浅野 慶太

(香川所)